

突発性難聴の治療(高気圧酸素療法)を受けられる患者様へ(入院診療計画書)

耳-14.02-1

氏名 _____ 様

病名 右・左 突発性難聴 症状 _____

入院病日・経過 (月 日)	入院当日・1日目	2日目～7日目	8～10日目	11～14日目 退院日	外来
達成目標	◇安楽に入院生活が送れる ◇必要な治療がきちんと受けられる ◇苦痛な症状があれば早期に対処される			【退院基準】 ◇高気圧酸素療法が終了する	
食 事	制限はありません * 入院前より医師から食事が制限されている方は、その指示に従ってください 				
安静度	院内での行動は自由ですが、過度の運動は避けてください 				
清 潔	入浴できます 				
排 泄	制限はありません				
注 射	午前中に注射をします 				
内 服 薬	ビタミン剤・循環改善剤・血流を良くするお薬が処方されます、医師の指示通りに飲んでください 持参薬がある方は、医師または看護師にお知らせください		注射が終了し飲み薬が 処方されます	退院後の飲み薬が処方されます 	
高気圧酸素療法		(5～)10回実施します(土日祝日は中止となる場合があります)			
検 査	入院時と退院前に聴力検査が行なわれます 採血・脳の検査等が適宜行われます めまいがあった場合、退院前にめまい検査を行います				MRIを撮影する 場合があります
処 置	回診室で毎日(午前中)診察します 			＜退院後の生活について＞ 退院後は体力が低下しています。次の事に気をつけましょう。 ☆うがい・手洗い・手指消毒を行いましょう。 ☆過度の飲酒や過労を避け、睡眠をしっかりととりましょう。 ☆耳への大きな刺激は避けましょう。 直接大音量で音を聞く機会は避けた方がよいでしょう。 入院中の音楽療法が退院後は必要ありませ ☆内服薬は継続しましょう。	
指導・説明	看護師が入院について説明します 音楽療法について説明します 特別な栄養管理の必要性 有・ 	40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて 総合的な機能評価を行う場合があります。 			
備 考	既往症をお持ちの方は、担当医師と相談しながら治療していきます 				

注 状態に応じて予定が変更となる場合があります

主治医 _____ 印

主治医署名 _____

※主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者 看護師 _____
薬剤師 _____
栄養士 _____

旭川赤十字病院 4階きた 入院フロア